

## 肺移植から考える当院での潜在的心停止ドナーに関する後ろ向き単施設研究

### 1. 研究の対象

当院の2021年1月から2023年6月までの全死亡症例を対象とします。

### 2. 研究目的・方法

肺移植は他の有効な治療手段がない終末期呼吸器疾患患者に対して行う治療です。しかし、本邦の脳死ドナー不足は欧米よりはるかに深刻な問題です。脳死下臓器提供数の不足に対する対策として、心停止ドナーからの臓器提供（DCD）が一つの対策となりうるが本邦における制度は確立されていません。一方で、心停止ドナーからの移植肺提供数の予測に関する詳細なデータもなく、今後DCDが実臨床で開始されたとしてもその数は未知です。

そのため、当院における現状を解析し潜在的なDCD可能症例数を解析することを本研究の目的とします。

研究期間：研究機関の長の実施許可日～2025年12月31日

利用または提供を開始する予定日：2023年12月

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、BMI、呼吸器症状、血液検査結果、生理学的検査結果(呼吸機能など)、病歴、治療内容（手術、服薬歴）、治療効果など

ただし、カルテ番号、生年月日、イニシャル、病理検体番号等の個人を特定しうる情報は用いません。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2(L5)

国立大阪大学医学系研究科呼吸器外科学講座 狩野孝

電話：06-6879-3152

研究責任者： 同 呼吸器外科学講座 教授 新谷康